



DAIKO
大光電機株式会社

取扱説明書

保存用

DP-36489B

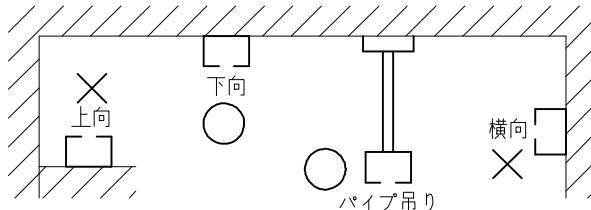
- 安全に関するご注意・・・下記内容をお守りください。不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- 施工前に・・・取付工事は、電気工事士の資格が必要です。必ず工事店に依頼してください。



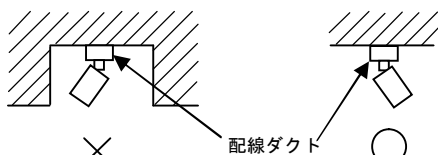
- ダクト・ジョイナー・フィードインボックス等は、各々の施工方法に従ってください。不備があると、火災・感電・落下の原因になります。
- 一般屋内用です。湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所等には、使用しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- ジョイナーやフィードインボックスの電気接続は、確実に行ってください。不完全接続の場合、火災の原因となります。
- 商品を改造しないでください。火災・感電・落下の原因になります。



- 周囲温度が 5℃～35℃ の範囲で使用してください。また、急激な温度変化で結露が生じる恐れのある場所では使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- 天井直付・パイプ取付兼用です。壁面・傾斜天井・上向きには取付けしないでください。指定以外の取付けは火災・感電・落下の原因となります。
- 器具取付部に指や指定以外の金属物を挿入しないでください。感電・短絡の原因となります。
- 照明器具からの輻射熱により配線ダクトが加熱されますので、配線ダクトの温度が 65℃ 以下になるようにしてください。火災・感電・落下の原因となります。



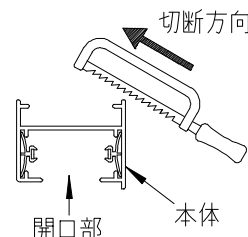
- 照明器具が埋込状態となる様な施工はお避けください。火災の原因となります。



- 終端部には、必ずエンドキャップを取付けてください。不備があると、感電の原因となります。

- ダクトの切断は、金のコ(手のこ)を使用し、開口部を下向きにして切断してください。電動工具を使用しますと、火災や感電の原因となります。

- 切断部のカエリ、切りくずなどはきれいに取り除いてください。火災や感電の原因となります。



仕様

天井直付パイプ取付兼用

		1m	2m	3m
ダクトのみ (アース無)	オフホワイト	L-7069	L-7070	L-7071
	ホワイト	L-7069E	L-7070E	L-7071E
	ブラック	L-7039	L-7040	L-7041
	シルバー	L-7009	L-7010	L-7011

連結部品 (天井直付パイプ取付兼用型用)

	オフホワイト	ホワイト	ブラック	グレー
フィードインボックス	—	DP-36489	DP-36490	DP-36491
エンドキャップ	—	DP-36492	DP-36493	DP-36494
連結用ジョイナー	—	DP-36323	DP-36324	DP-36325
カップリング形ジョイナー	—	DP-36495	DP-36496	DP-36497
吊りパイプ	L-7083	L-7083E	L-7084	L-7025

取付方法

配線ダクト

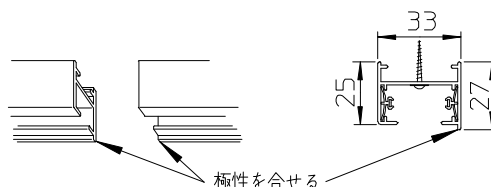
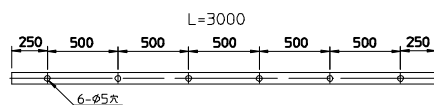
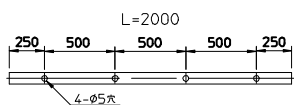
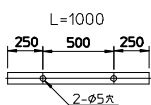
■施工前の確認

- 照明器具等の重さに耐えるよう取付面を補強してください。不備があると、落下の原因になります。
- 接続する場合は、極性を合わせてください。

天井直付の場合

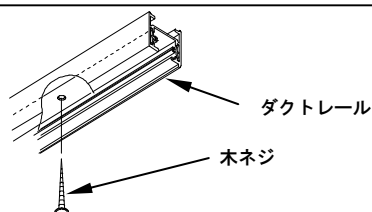
■ダクトの取付方法

- 付属の木ネジを使用してください。
- 取付穴は全数使用してください。
- 不備があると落下の原因になります。



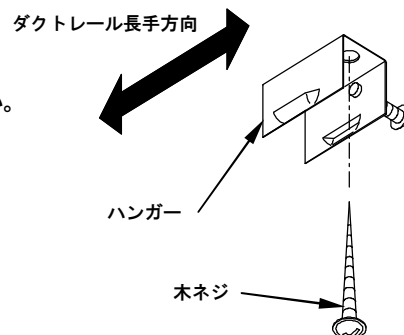
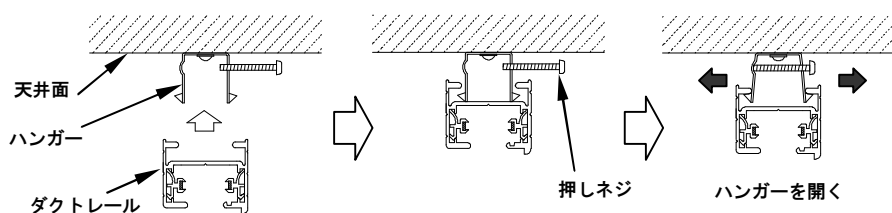
【天井直付】

- 付属の木ネジで天井面の補強材のある場所に確実に取付けてください。



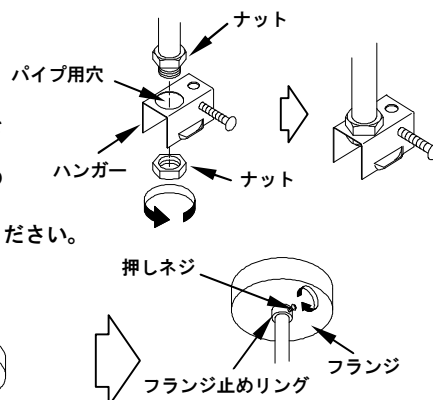
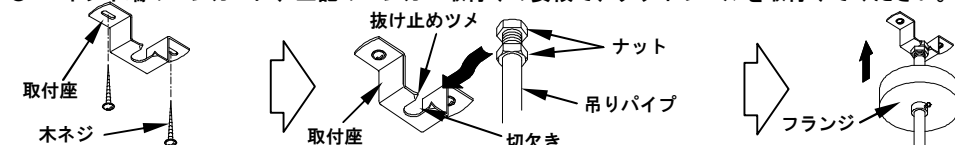
【ハンガー取付】

- ハンガーを木ネジで天井面の補強材のある場所に確実に取付けてください。
その際、ハンガーの長手を、取付けるダクトレールの長手方向に合わせてください。(右図)
- ダクトレールを押し上げ、レール上面開口部にハンガーを差し込んでください。
- ハンガー側面の押しネジをねじ込み、ハンガーを開いてダクトレールを確実に固定してください。
- ハンガーの支持間隔は、標準1m、最大1.5m以下とし、野縁などに確実に固定してください。



【パイプ吊り】

- 吊りパイプ下端の1段目のナットを外し、ハンガーのパイプ用穴にパイプ下端を通し、ナットで確実に締め込んでください。
- 取付座を木ネジ(2本)で天井面の補強材のある場所に取付けてください。
- 吊りパイプ上端のナットを緩め、取付座の抜け止めツメの内側にナットが納まるようにパイプを取付座切欠きの奥まで挿し入れ、1段目のナットを引掛けてください。
- 2段目のナットを締め込みパイプを確実に取付けてください。その際、パイプ下端のハンガーの長手が、取付けるダクトレールの長手方向に揃うよう確認してください。
- フランジを天井面に押し上げ、フランジ止めリングの押しネジを締め込みフランジを固定してください。
- パイプ下端のハンガーに、上記のハンガー取付けの要領で、ダクトレールを取付けてください。



フィードインボックス

■ダクトとの接続

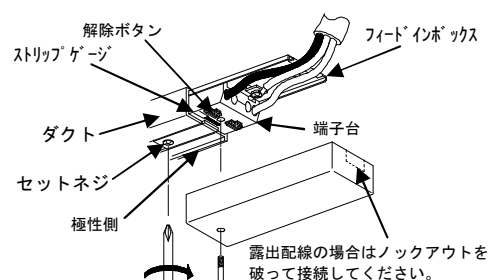
- フィードインボックスをダクトに接続し、セットネジを確実に締めつけてください。

■電源の接続

- ストリップゲージ(1.2mm)に合わせて電線を段むきした後、端子台に奥まで確実に差込んでください。

■ご注意

- 電源の接続はダクトの極性側(凸部側)を必ず接地側としてください。
- 電線は1.6mmまたは2mmの単線をご使用ください。



各種ジョイナー

■ダクトとの接続

- ダクトの極性側(凸部側)を図のような方向に合わせてから最後まで確実に接続してください。
接続後、必ずセットネジを確実に締め付けてください。
- 接続のみの場合はカバーをはずす必要はありません。

■電源の接続

- ラインの中間から給電を行う場合は、フィードインボックスと同様に行ってください。その際、ダクトの極性側(凸部側)及びジョイナーの極性側(白線側)を必ず接地側としてください。

■ご注意

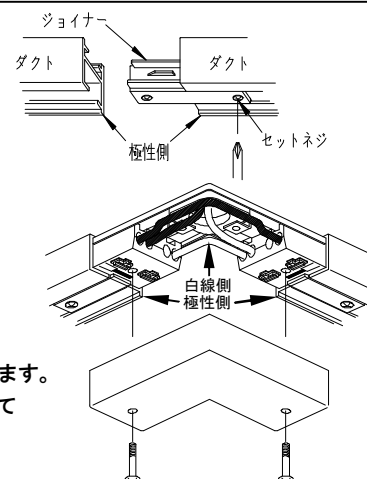
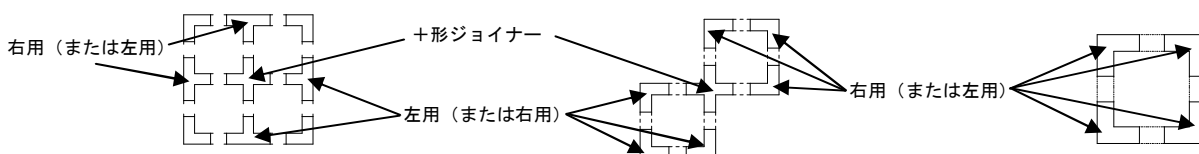
- 連結用ジョイナーとダクトとの接続の際は、必ずダクトに突き合わせて確実に接続してください。

■T形ジョイナーの使用法

- T形ジョイナーには右用と左用があります。向き合ったT形ジョイナーは必ず右用と左用を対で使います。
- +形ジョイナーの向きによっては右用と左用の位置が変わる事がありますが、極性を合わせて接続していくと必然的に位置が決まります。

■L形ジョイナーの使用法

- L形ジョイナーには右用と左用があります。田の字に連結する場合は、必ず同じ種類のジョイナーを使用してください。
- 8の字に連結する場合は、必ず右用と左用を対で使います。口の字に連結する場合は、必ず同じ種類のジョイナーを使用してください。
- +形ジョイナーの向きによっては右用と左用の位置が変わる事がありますが極性を合わせて接続していくと必然的に位置が決まります。



商品についてのご相談・お問合せ

商品のお問合せ、修理、アフターサービスのご相談は、器具体体に貼付している器具銘板で品番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店、工事店、もしくは右記の相談窓口までご連絡ください。

相談窓口	商品についてのご相談	修理・アフターサービス (ダイコーエンジニアリング株式会社)
	本社 TEL (06) 6222-6240 (代)	TEL (06) 6731-1286

※電話番号は変更になることがありますので、予めご了承ください。(平成19年8月1日現在)